

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費		成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響		
			会計	投入コスト(千円)	活動実績(H28)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	健康の保持・増進及び疾病予防に関する知識の普及啓発を図るための教育事業は、健康寿命を延伸するためには重要である。しかし、健康に関する意識関心が低い人へのアプローチ、実施方法や回数などに関しては、評価見直しを行い、少ない労力でも高い効果が得られるよう必要な改善・効率化を図る必要がある。	H28年度に改善した点	無	無
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	10,105	9,781	①各種健康教育参加者数(延べ)	65歳健康寿命(65歳に達した人が要介護2以上になるまでの期間)	埼玉県健康指標総合ソフトにより算出。男女別に算出されているため、男性の健康寿命を指標とする。						
	成人健康教育事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②各種講演会参加者(延べ)		H27年度目標	H27実績					
		健康増進法	11,410	8,423		18年	17.59年						
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H28年度目標	H28実績	年々目標値に近づいている。活動実績は伸びており、今後も、適切な生活習慣の確立により高い予防効果が期待される若い層中心に参加者を増やす努力を継続し、目標に近づこう努めたい。					
		心身の健康についての自覚を高め、かつ健康の保持・増進及び疾病予防に関する知識の普及啓発を図ることで、健康寿命を延伸することを目的とし、栄養及び歯科を含めた各種健康教室等を実施する。	3.15人		①4,462人	18年	17.79年						
	①市民健康大学②40代からの健康美人セミナー③市民健康づくり講演会④健康づくり栄養教室⑤歯科健康教室⑥依頼健康教育等	27,279千円	臨時職員 2.45人	②354人	H29年度目標								
期間	S58年度～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合		18年								
		2.86人											
		24,525千円	臨時職員 2.60人										
健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	健康情報は、健康番組やインターネットを通じて容易に入手できるが、個別性の高い具体的な指導や助言を提供できる機会は少ないと考えられる。健康への関心が高まっており、健康の保持・増進を図るためには、今後も改善効率化を図りながら継続していく必要がある。	H28年度に改善した点	無	無
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	3,979	3,792	①保健センター健康相談の相談者数	65歳健康寿命(65歳に達した人が要介護2以上になるまでの期間)	埼玉県健康指標総合ソフトにより算出。男女別に算出されているため、男性の健康寿命を指標とする。						
	成人健康相談事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②総合相談(その他の健康相談含)		H27年度目標	H27実績					
		健康増進法	7,241	4,472		18年	17.59年						
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H28年度目標	H28実績	年々目標値に近づいている。活動実績については、維持～微増の状況だが、今後も周知方法や事業の設定など健康相談を必要とする人に出会えるような設定を工夫する必要がある。					
		健康の保持増進を図ることを目的として、個々の心身の健康状態に合わせた相談に応じ、家庭等における健康管理に役立てられるよう必要な指導及び助言を行う。	2.60人		①177人	18年	17.79年						
	①健康相談②栄養相談③気になる血糖値相談④リハビリ相談⑤歯科相談⑥出張健康相談等	22,516千円	臨時職員 1.50人	②2,014人	H29年度目標								
期間	S58年度～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合		18年								
		2.63人											
		22,552千円	臨時職員 2.40人										
市民相談課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	平成26年度まで減少していた利用者数について、平成27年度に続き、平成28年度も目標値を達成するとともに、前年度比約30%以上の増となった。また、民間事業者から聞き取り調査や市民意識調査の結果から、移動を容易にする企画として所沢発着の市民限定のバスツアーを2回実施し、合計154人の参加があり、好評を得た。なお、当バスツアーは、市は広報を担当し、協定施設が主催する企画であるため、公費負担をかけずに市民の健康増進と心身のリフレッシュを推進することができた。	H28年度に改善した点	無	無
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	105	28	①バスポート券利用者数	バスポート券を利用した述べ人数	健康増進と心身のリフレッシュを図るため、所沢バスポート券利用者数を指標とする。目標値については、事業を継続して推進するため前年度実績を超える数値としている。						
	市民保養施設利用事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②		H27年度目標	H27実績					
		所沢バスポート券要綱	83	48	③	360	492						
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H28年度目標	H28実績	目標達成済					
		市民の健康増進と心身のリフレッシュを目的とする。市が協定を結ぶ温泉地の旅館組合や単体の宿泊施設で宿泊料金の優待割引(10%)等を受けられる所沢バスポート券事業を実施している。平成28年度は、四万温泉、水上温泉及び石和温泉の3か所の保養地と草津、土肥、魚沼、秩父にある宿泊施設と協定している。また、協定施設を利用した市民限定のバスツアーを実施した。	0.50人	0.00人	①639	493	639						
		4,330千円	臨時職員 0.00人	②	H29年度目標								
期間	4年度～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	③	640								
		0.59人	0.00人										
		5,059千円	臨時職員 0.00人										
健康管理課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	平成27年度は目標を達成していたが、平成28年度は目標値に3.1ポイント及ばなかった。毎年対象者数は、がん検診全体で2,000～3,000人前後増加しているが、受診者数はほぼ横ばいである。今後は新たな受診者を増やすよう、平成29年度からはじめた日曜日の検診やレディースデーなどの検証を行い、受診しやすい環境を整えていきたい。	H28年度に改善した点	無	有
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	248,385	228,995	①延べ申込者数(前立腺がん検診を除く)	大腸がん検診受診率	がんの早期発見・早期治療により、市民のがんによる死亡の減少を図ることが目的であるため、性別に関係なく、また、保健センター及び市内協力医療機関のどちらでも受診できる大腸がん検診を指標とし、上記の目的から前年度を上回る数値を目標値とした。						
	がん検診事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②延べ受診者数(前立腺がん検診を除く)		H27年度目標	H27実績					
		健康増進法	230,246	214,902	③前立腺がん検診受診者数	17%	17.80%						
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H28年度目標	H28実績	特定年齢の対象者に切手不要の申し込みはがきを同封した郵便物の送付や、保健センターでの受付日を増やしたが、受診者数が増えず、目標値達成には至らなかった。					
		がん検診を実施することにより、がんの早期発見と早期治療につなげ、市民のがんによる死亡の減少を図る。	4.35人		①58,899人	18%	14.90%						
	【検診の種類と対象】 胃・肺・大腸がん検診は40歳以上の男女、乳がん検診は40歳以上の女性、子宮頸がん検診は20歳以上の女性、前立腺がん検診は50歳から80歳までの5歳刻みの男性	37,671千円	臨時職員 6.85人	②41,339人	H29年度目標								
期間	S58年度～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	③2,859人	19%								
		4.60人											
		39,445千円	臨時職員 6.86人										

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど				環境影響	
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題		有益なもの	有害なもの	
健康管理課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標は概ね達成することができており、事業の目的である感染症の発生・まん延防止は図られていると考える。今後も引き続き、高い接種率を維持できるよう、確実な周知と適切な勧奨に努めていきたい。	H28年度に改善した点		無	無		
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	850,741	812,684	① 小児予防接種接種者数	小児予防接種接種率 (延べ接種者数60,380人÷対象者数64,057人)	感染症の発生・まん延を防止するためには市民の免疫レベルを高い水準に保つ必要があることから、予防接種の周知・勧奨を確実に行うことにより、100%に近い接種率を維持していくことを目標とする。				H28年度に改善した点					
	各種予防接種事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	② 高齢者予防接種接種者数	※但し、子宮頸がんについては、積極的勧奨を中止していることから除く。					予防疫種関係法令の改正に対応し、10月からB型肝炎の定期接種を追加した。					
		健康増進法	881,792	825,345	実績						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	① 60,405人	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析			厚生労働省厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会において、おたふくかぜやロタウイルスの定期接種化についても検討が行われていることから、これらの動向を注視していく。					
		各種予防接種を実施することで、市民の免疫レベルを高い水準に保ち、感染症の発生・まん延を防止する。 【種類】 (小児)ヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎、四種混合、不活化ポリオ、BCG、麻しん風しん混合、麻しん、風しん、水痘、日本脳炎、二種混合、子宮頸がん(高齢者)インフルエンザ、成人用肺炎球菌	2.55人	0.00人	② 43,914人	100%	97%	疾病や体質などにより予防接種を受けられない小児がおり、100%を達することは難しい。また、平成28年度は、日本脳炎ワクチンや麻しん風しんワクチンが供給不足となった影響により前年度実績を下回ったが、これらを考慮すると概ね目標は達していると考えられる。								
期間	S23年度～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合		H28年度目標	H28実績			評価者							
		2.78人	0.00人		100%	94%			健康管理課長 越智 三奈子							
		23,839千円	0.67人		H29年度目標											
					100%											
健康管理課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	平成28年度も申込方法や期間、周知について工夫を行い、平成27年度と比較して受診者数は増加したが、目標は達成できなかった。成人歯科検診は、心身の健康のためにも重要であると考えており、引き続き受診しやすい検診となるよう工夫するとともに周知に努めていきたい。	H28年度に改善した点		無	有		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	8,469	4,983	① 対象者数	成人歯科検診受診率 (受診者数÷対象者数×100=受診率)	歯の健康を維持し、歯の喪失を予防することが目的となっているため、受診率を目標とする。				年度当初に送付する勧奨通知の範囲を広げ、全ての対象者へ送付した結果、前年度と比較して申込者数が増加した。					
	成人歯科検診事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	② 申込者数						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
		健康増進法	8,029	6,227	③ 受診者数						歯の喪失予防は高齢期の健康維持に繋がることから、継続して実施すべき事業である。平成28年度は、前年度と比較して申込者数が増加しており、引き続き周知に努めていく。					
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析			菌の喪失予防は高齢期の健康維持に繋がることから、継続して実施すべき事業である。平成28年度は、前年度と比較して申込者数が増加しており、引き続き周知に努めていく。					
		高齢期においても歯の健康を維持し、食べる喜びを享受できるように、歯の喪失を予防することを目的とする。 【実施内容】 40・50・60・70歳の者を対象とし、口腔内診査を行い、その結果に基づき保健指導を行っている。	0.67人	0.50人	① 17,857人	10%	3.20%	受診者数は平成27年度の403人から135人増加しているが、対象者の算定方法の変更により受診率は下がっている。受診者のアンケートから歯の健康に対する意識が向上し、かかりつけの歯科医院を持ち、定期検診を受診している市民が増えている。このことも、成人歯科検診の受診率が上がらない原因の1つと考えている。								
期間	H12年度～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	② 905人	H28年度目標	H28実績			評価者							
		0.92人	0.53人	③ 538人	10%	3.10%			健康管理課長 越智 三奈子							
		7,889千円			H29年度目標											
					5%											
健康管理課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標はほぼ達成したと考える。今後も引き続き骨粗しょう症検診の重要性を周知し、受診しやすい検診となるよう、工夫していきたい。	H28年度に改善した点		無	有		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	7,284	4,165	① 対象者数	骨粗しょう症検診受診率 (受診者数÷対象者数×100=受診率)	早期に骨量減少者を発見し、治療に結びつけることで骨粗しょう症予防を推進することを目的としているため、受診率を目標とする。また、目標値は、前年度の実績から設定した。				年度当初に送付する受診勧奨通知に、切手不要の申し込みはがきを同封し、手軽に申し込めるようにした。通知に、疾病についての情報や検診の内容を載せることで受診意欲の向上に努めた。受付業務や問診の効率化を図り、受診にかかる時間を短縮している。					
	骨粗しょう症検診事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	② 申込者数						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
		健康増進法	5,943	5,349	③ 受診者数						骨粗しょう症は骨折や寝たきりの要因になるとされ、本市においても、その予防及び早期介入は重要である。今後も健康相談・健康教育の場を通じて、市民が骨粗しょう症の知識を得られる機会を提供するとともに、骨量減少の早期発見と進行の抑制を目指して、受診率向上に努めていく。					
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析			骨粗しょう症は骨折や寝たきりの要因になるとされ、本市においても、その予防及び早期介入は重要である。今後も健康相談・健康教育の場を通じて、市民が骨粗しょう症の知識を得られる機会を提供するとともに、骨量減少の早期発見と進行の抑制を目指して、受診率向上に努めていく。					
		男性に比べ女性は骨量の減少が早く、骨粗しょう症になりやすいため、早期に骨量減少者を発見するとともに、保健指導による改善と意識啓発を図ることで骨粗しょう症予防を推進することを目的とする。 【実施内容】 40・45・50・55・60・65・70歳の女性の腕前骨のX線検査(DXA法)により骨密度を測定する。	0.90人	0.45人	① 16,177人	12%	6.90%	H28目標値が未達成の理由・分析								
期間	H7年度～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	② 1,518人	H28年度目標	H28実績			評価者							
		0.40人	0.41人	③ 1,272人	8%	7.90%	ほぼ目標達成済み		健康管理課長 越智 三奈子							
		3,430千円			H29年度目標											
					8%											
健康管理課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	前年度と比較すると受診者数は25人増加したが、目標を達成することはできなかった。今後も、引き続き受診の機会を提供し、周知に努めていきたい。	H28年度に改善した点		無	有		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	645	454	① 受診者数	受診者数	世界的にみても、日本はまだ結核の中蔓延国という状況にあることから、結核を早期に発見し、治療に結びつけることで蔓延を防止することが目的であるため、受診者数を指標とする。				受診者本人による結核健康診断カードの記載及び確認を省略したことにより、受診者一人あたりにかかる受付時間の短縮及び事務の効率化を図った。					
	結核検診事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	実績						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
		感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律	607	474	① 448人						結核罹患率は毎年低下しているものの、国内では未だ年間約1万9000人の新たな結核患者が発生している。今後も受診しやすい環境を整えていく。					
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合		H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析			結核罹患率は毎年低下しているものの、国内では未だ年間約1万9000人の新たな結核患者が発生している。今後も受診しやすい環境を整えていく。					
		結核を早期に発見し治療に結びつけることで、蔓延を防止し、結核に関する正しい知識の普及・健康障害の回避、症状の軽減・進行の遅延を図ることを目的とする。 【実施内容】 胸部X線検査を受ける機会のない15歳以上の方、又は肺がん検診を受けていない(受ける予定のない)40歳以上の方を対象とし、胸部X線撮影を行う。	0.40人	0.10人		600人	423人	胸部X線検査は、肺がん検診や医療センターの人間ドック、特定健康診査のオプション等による検査の機会がある。このことも受診者数が増えない原因の1つと考えている。								
期間	H10年～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合		H28年度目標	H28実績			評価者							
		0.40人	0.00人		600人	448人			健康管理課長 越智 三奈子							
		3,430千円			H29年度目標											
					600人											

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費		成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響		
			会計	投入コスト(千円)	活動実績(H28)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	相談窓口開設後、妊娠届出時や乳児全戸訪問事業で事業の周知を図った。専門相談員のていねいな対応により、相談件数の増加が見られた。	H28年度に改善した点	無	無
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	H28予算現額	H28決算額(見込み)	①電話、窓口、面接、訪問等による相談	妊娠・出産について満足している親の割合	「健やか親子21(第2次)」計画の乳幼児健康診査におけるアンケート調査項目を設定。						
	根拠法令	子ども・子育て支援法	6,799	5,823	②マタニティコール	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析					
	事業の目的及び具体的な内容	核家族化や地域のつながりの希薄化等により、地域で出産、子育てを担う母親の育児負担が増えていることから、妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な相談に円滑に対応する。	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	③母乳相談	H28年度目標	H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析					
	期間	H28年度～	0千円	臨時職員	実績	H29年度目標							
			H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	①886人	70%	71.5%						
		1.02人	非常勤特別職	②724人									
		8,747千円	臨時職員	③292人	73%								
										事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			
										事業の充実を図り、満足している親の割合が増加することを旨とする。			
										健康づくり支援課長 野上 進			
健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	成果指標の目標値を達成しており、当事業については一定の成果が挙げられていると考えている。	H28年度に改善した点	無	無
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	H28予算現額	H28決算額(見込み)	①参加者数	本事業参加者の参加前と参加後を比較し、増加した歩数	本来であれば、医療費抑制効果とすべきであるが、データが十分に揃っていないため、本事業に参加したことによる歩数増分を指標とした。						
	根拠法令	健康増進法	42,222	41,051	②増加歩数	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析					
	事業の目的及び具体的な内容	本事業は、所沢市民一人ひとりが健康を実感しながら地域で安心していきいきとした生活をおくることのできる「健幸長寿のマチ所沢」を目指すものである。市民に「歩く」ことを中心とした日常的な運動を推奨し、歩数や運動量を計る活動量計を貸与して、歩数等にに応じた「健幸ポイント」を付与することで、健康寿命の延伸を進めるものである。	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H28年度目標	H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析					
	期間	H28年度～	0千円	臨時職員	①1,000人	1,000歩	1,849歩						
			H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	②1,849歩	1,000歩							
		2.22人	非常勤特別職										
		19,037千円	臨時職員	0.00人	1,000歩					事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			
										平成29年度は、さらに500名を追加し、1,500名規模での事業実施となる。昨年度からの参加者と新規参加者を並行して管理していくため、事業展開に支障をきたさぬよう十分注意を払いながら進めていく必要がある。また、将来、今後の事業の方向性を検討していく必要がある。			
										健康づくり支援課長 野上 進			
健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	専門性の高い相談を希望する保護者が多いことから、今後も相談内容・相談回数等のニーズを捉え対応する必要がある。また、児童虐待の予防・早期発見・早期対応として、専門性の高い相談を充実させて子どもの発育発達を促進し、良好な母子関係を確立していくためには今後も引き続き実施していく必要があると考えている。	H28年度に改善した点	無	無
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	3,877	3,728	①相談実施回数	参加率	参加者数÷各事業の対象(予約)人数×100						
	根拠法令	母子保健法、所沢市母子保健事業実施要綱	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②参加者数	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析					
	事業の目的及び具体的な内容	児童虐待の予防・早期発見・早期対応として、医師相談、心理相談、こぼしの相談、運動あそびの相談、子育てメンタル相談等専門性の高い相談を充実させることにより、育児不安の強い母親への支援を行い、育児不安の軽減を図る。また、子どもの発育・発達を促進するとともに、人間形成の基盤となる乳幼児期の母子関係を確立することを目的とする。	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H28年度目標	H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析					
	期間	H14年度～	1.49人	臨時職員	①144回	100%	82%						
			12,903千円	0.00人	②401人	100%	84%						
		H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	③476人	100%								
		1.56人	非常勤特別職							事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			
		13,377千円	臨時職員	0.00人						専門相談後の継続した支援については、関係機関との連携により切れ目のない支援を実現するとともに、相談者のニーズの把握に努めていく。			
										健康づくり支援課長 野上 進			
健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	アンケート等から参加者のニーズを捉え、より参加しやすいよう事業内容の改善や効率化を図る必要がある。	H28年度に改善した点	無	無
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	4,716	4,391	①各事業の実施回数	受講率	受講人数÷申込人数×100						
	根拠法令	母子保健法	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②各事業の参加延べ人数	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析					
	事業の目的及び具体的な内容	母子保健に関する正しい知識の普及、情報の提供を行い、妊娠・出産・育児に関する不安の軽減を図る。また、ともに育児をする仲間づくりのための支援を行う。	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	③各事業の参加申し込み人数	H28年度目標	H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析					
	期間	S48年度～	2.56人	臨時職員	①165回	100%	89%						
			22,170千円	1.50人	②3,531人	100%	91%						
		H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	③3,861人	100%								
		3.24人	非常勤特別職							事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			
		27,783千円	臨時職員	1.50人						核家族化が進み、子育てについて身近に相談できる相手がいない方が増えている現在において、当該事業により妊娠・出産・子育てに関する正しい知識の普及を図っていくことは重要である。また、孤立防止のため仲間づくりを推進する。			
										健康づくり支援課長 野上 進			

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど				環境影響	
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題		有益なもの	有害なもの	
健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	新生児訪問希望者の増加により確実に訪問時に母子に会い、指導率が向上している。母の育児不安など早期に対応することは母子の健全育成、虐待防止に繋がっており今後も引き続き実施していく必要がある。	H28年度に改善した点		無	無		
	優先	■自治事務 □法定受託事務 □法定受託+附加	11,876	11,215	①対象者	訪問指導実施率(目視率)	全家庭への訪問を実施しているが、訪問により母子との面接の中で育児不安の改善を図ることが目的であるため、訪問指導実施率を指標とする。 訪問指導件数÷訪問件数×100				H28年度に改善した点					
	乳児家庭全戸訪問事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②訪問指導件数(目視者)		実績				H28目標値が未達成の理由・分析				H28年6月に子育て包括支援センターを開設し妊娠期からの関わりにより出生連絡票の返信率が向上。新生児訪問希望件数の増加に伴い訪問指導率の向上につながった。	
		児童福祉法、母子保健法、所沢市母子保健事業実施要綱	12,934	12,732	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	H27年度目標	H27実績			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
		事業の目的及び具体的な内容	2,83人		24,508千円	臨時職員	2.00人	83%			85%	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
	期間	①新生児妊産婦訪問、②未熟児訪問、③こんにちは赤ちゃん訪問	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	①2,559人	H28年度目標	H28実績	核家族化や地域との関係が希薄となっている中で、妊娠中や出産直後は一層地域から孤立する時期である。妊娠中から相談窓口の周知を行い、新生児訪問、こんにちは赤ちゃん訪問などにより、早期に関わりが必要な母子への訪問を実施し、育児不安に対応することで母子の健全育成、虐待防止に繋がる。長期里帰り者もいるため全対象への指導は難しい現状がある。			H28年度に改善した点					
	H7年度～		1,51人		②2,303人	H29年度目標		評価者			H28年度に改善した点					
		12,948千円		臨時職員	3.00人	93%		健康づくり支援課長 野上 進		H28年度に改善した点						
健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	地域全体での子育てを推進する上で重要であり、今後も母子保健推進員と市及び関係機関が連携を密にし、声かけ訪問などの各種事業の充実を図る必要がある。	H28年度に改善した点		無	無		
	重要	■自治事務 □法定受託事務 □法定受託+附加	400	364	①活動延べ回数	活動参加延べ人数	活動参加人数+各地区の活動参加人数+訪問実人数				新規の母子保健推進員の拡大を図った。母子愛育会補助事業についても合わせて評価を行うものとした。					
	母子保健地域活動事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②活動参加延べ人数		実績				H28目標値が未達成の理由・分析				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
		母子保健法、所沢市母子保健推進員設置要綱	400	360	③母子愛育会会員数	H27年度目標	H27実績	愛育会班員の新規加入者の減少、高齢化による。			母子保健推進員による声かけ訪問等の活動は、孤立化を深める母子が地域と交流する機会となり、引き続き実施していく必要がある。今後も声かけ訪問で得られた情報は地域の課題を洗い出す上で必要不可欠であることを推進員が理解できるよう、事業を充実させていく。					
		事業の目的及び具体的な内容	1,47人		12,730千円	臨時職員	0.00人	7,000人			5,773人	H28年度に改善した点				
	期間	地域に根ざした健康づくりを目指して活動する組織である母子愛育会を育成し、地域住民主体の子育て支援活動の一層の充実を図る。さらに、核家族化により地域住民との関係が希薄であり身近な相談相手を得られにくくなっている子育て世代に行政による母子保健事業だけではなく、地域住民からの働きかけを推進するため、母子保健推進員を委嘱し、保健事業に関する紹介や利用勧奨等を声かけ訪問にて実施することで地域住民の健康問題の把握に努める。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	①708回	H28年度目標	H28実績	評価者			H28年度に改善した点					
	S55年度～		2,94人		②6,499人	H29年度目標		健康づくり支援課長 野上 進			H28年度に改善した点					
		25,211千円		臨時職員	0.00人	7,000人		健康づくり支援課長 野上 進		H28年度に改善した点						
健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	事業終了後の参加者アンケートをもとに、保護者の満足度と改善点を探り、充実を図っていく必要がある。	H28年度に改善した点		無	無		
	重要	■自治事務 □法定受託事務 □法定受託+附加	1,240	1,165	①開催回数	参加率	1コース4回全出席を原則としている(参加者÷予約人数×100)				各コース2回目に実施していた臨床心理士による講話を、当日の参加者の状況に応じて最終回に実施する等臨機応変に対応した。					
	幼児の育成指導事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②予約人数(延)		実績				H28目標値が未達成の理由・分析				地区担当保健師が事業の見学に入り、親子の様子をスタッフと共有できた。	
		母子保健法、所沢市母子保健事業実施要綱	1,241	1,173	③参加者数(延)	H27年度目標	H27実績	対象者が幼児及びその家族であり、突然の体調不良等により当日欠席がある。親子によっては集団活動の場に慣れず、途中で参加を中断する場合がある。			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
		事業の目的及び具体的な内容	0,93人		①24回	H28年度目標	H28実績	今後も、様々な職種が事業に携わることに伴い、多面的に児を観察し健全な発達を促す、また保護者の不安や悩みを受け止め不安軽減を図り、育児支援につなげる。こども支援センター開設に伴い、平成30年度以降の当該事業の運営について検討が必要である。			H28年度に改善した点					
	期間	2歳児とその保護者を対象とし、集団遊びや自由遊びを通して健全な発達を促す。また、保護者の不安や悩みを受け止め、安心感を与えること、不安軽減を図り、育児支援につなげる。参加者固定1コース月1回(全4回)。集団遊びを通して児の発達状況の確認と親子遊びの体験をする。保護者の主訴に合わせて個別相談を行う。各コースとも臨床心理士から保護者向けに1回講話を実施。終了後のカンファレンスにより今後の方針を検討する。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	②250人	H29年度目標		評価者			H28年度に改善した点					
	H9年度～		0,96人		③183人	100%		健康づくり支援課長 野上 進			H28年度に改善した点					
		8,054千円		臨時職員	0.00人	100%		健康づくり支援課長 野上 進		H28年度に改善した点						
健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	口腔の健康の保持増進を図るため、今後も参加者のニーズを的確に捉え、事業内容の改善・効率化を図っていく必要がある。	ほっとメールを活用し広く事業案内を行い、周知を強化した。		無	無		
	重要	■自治事務 □法定受託事務 □法定受託+附加	9,968	9,557	①参加者数	参加率	参加者数÷対象(申込者)数(7,181人)×100				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
	母子歯科保健指導事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	実績		H28目標値が未達成の理由・分析				妊娠中及び乳幼児期からの口腔の健康保持増進を図るため、歯科保健指導事業を継続していくことが重要である。また、乳幼児健康診査未受診者に対しては、歯科相談の案内を行うなどのフォローが必要である。乳幼児期からの歯と口の健康の大切さについて、啓発をさらに充実させていく。					
		母子保健法	10,032	9,391	H27年度目標	H27実績	広報、まちづくりセンター、依頼教育等で事業の周知を行っているが、母親学級(歯科)・2歳児歯科健康教室の申込が定員に達していない。事業の周知だけでなく、妊娠期・乳幼児期からの口腔ケアの重要性について普及啓発をしていく必要がある。				H28年度に改善した点					
		事業の目的及び具体的な内容	0,83人		100%	87%	H28年度目標				H28実績					
	期間	妊娠中及び乳幼児期から、歯科健診や歯科保健指導等を通じて、歯科保健知識の普及や情報提供を行ない、口腔の健康の保持増進を図る。2歳児歯科健康教室、3歳児フッ化物塗布、保育園歯科保健指導、障害児歯科保健指導、歯と口の健康週間行事、母親学級(歯科)等	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	①6,166人	H29年度目標		評価者			H28年度に改善した点					
	S51年度～		0,48人		臨時職員	2.00人	100%				健康づくり支援課長 野上 進				H28年度に改善した点	
		4,116千円		臨時職員	2.00人	100%		健康づくり支援課長 野上 進		H28年度に改善した点						

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費		成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響				
			会計	投入コスト(千円)	活動実績(H28)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの			
健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	主に中途障害者の在宅生活への移行期を支援することで、閉じこもりを防止、自立・社会参加を促し、再発予防につながっていると考えられる。自己管理について、啓発の視点もふまえ実施している事業であり、事業に参加することにより本人の生活の質の向上はもちろんのこと、家族の介護負担の軽減にもつながっていると考えられる。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	6,521	5,826	①リハビリ教室実施回数	1教室あたりの参加者数(閉じこもり予防、再発防止、機能維持)	延べ参加者数÷回数				H28年度目標			H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析
	根拠法令	健康増進法	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②リハビリ教室延べ参加者数						H28年度目標			H28実績	周知活動や関係機関との連携に関して課題があると考えられる。自立支援は今後ますます重要度が増すと考えられるため、障害福祉課やケアマネージャー、病院のケースワーカー等との連携が必要である。
	事業の目的及び具体的な内容	主に心身の機能が低下している中途障害者で、医療終了後も機能訓練の必要な方に対し、心身の機能の維持回復を図ることを目的として必要な訓練を行い、日常生活の自立を支援する。又、自主的な社会参加が困難な方に対し、就労や社会参加に向けて支援する。	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績						H29年度目標				
	期間	H9年度～	1.14人		①88回										
			9,872千円	0.90人	②547人										
健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	病気や障害の発症予防には、生活の場にごちから出向くこと(=訪問)は不可欠である。地域包括支援センターの充実に伴い、高齢者の訪問件数は減少傾向にあるが、支援拒否や経済的困窮、周囲のサポートの乏しさ等の問題が複雑に絡むといったケースも増えており、関係機関との調整を含め丁寧な関わりを要するケースが増えている。今後においても高齢化や単身世帯の増加により、ケースの複雑化が予想され、行政として調整機能を求められると考えられる。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	941	832	①訪問指導実人数	65歳健康寿命(65歳に達した人が要介護2以上になるまでの期間)	埼玉県健康指標総合ソフトにより算出。男女別に算出されているため男性の健康寿命を指標とする。				H27年度目標			H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析
	根拠法令	健康増進法、高齢者の医療の確保に関する法律、所沢市訪問指導事業実施要綱	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②訪問指導延べ件数						H28年度目標			H28実績	年々目標値に近づいているが、訪問件数は、実数延数共に減少傾向である。ケアマネージャーや地域包括支援センター、各種相談支援センターなど複数の支援機関が関わり、連携して支援を行うようになったことが、要因と考えられる。
	事業の目的及び具体的な内容	在宅療養上の保健指導が必要な者に対して、心身機能の低下防止及び健康増進を図るために、健康上に関する問題を総合的に把握し、必要な指導を行う。	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績						H29年度目標				
	期間	H6年度～	2.95人	0.40人	①349人										
			25,547千円	0.40人	②457人										
健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	対象者の増加に伴い参加者数も増加することが予想される。対象者が80歳以上のため、審査及び表彰式の実施方法について、検討の必要があるため、28年度は、第一次審査の方法について改善を図った。今後は、表彰方法について、会場の収容人数や安全面などから改善・効率化を図る必要がある。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	1,312	1,229	①申込み人数						H27年度目標			H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析
	根拠法令	特になし	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②第1次審査参加者数	表彰者率	表彰者数÷80歳以上の人口(20,743人)×100				H28年度目標			H28実績	本来の8020達成者である初回参加者を増やすことができなかったため、目標値を達成できなかった。今後も周知を図り、初回参加者を増やす必要がある。
	事業の目的及び具体的な内容	市民の生涯を通じた歯の健康づくりを推進するとともに、8020運動の普及及び啓発を図ることを目的とし、自分の歯が20本以上ある80歳以上の市民を表彰する。	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績						H29年度目標				
	期間	H8年度～	0.45人	0.35人	①147人										
			3,897千円	0.35人	②138人										
健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	多職種による健康診査を実施することで、乳幼児の健康保持を図るとともに、疾病等の早期発見・早期治療につなげる。また、未受診者への受診勧奨の強化に取り組み、虐待の早期発見、予防につながる重要な事業である。目標達成を目指して、健診運営及び受診勧奨事業を充実させていく必要がある。	H28年度に改善した点	無	無		
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	55,923	52,184	①実施回数						H27年度目標			H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析
	根拠法令	母子保健法、所沢市母子保健事業実施要綱	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②対象者数	受診率	受診者数÷対象者数×100				H28年度目標			H28実績	家庭や子どもの状況により、乳幼児健康診査が未受診となる。訪問や通知、電話等で受診勧奨を実施し、目標達成を目指す。
	事業の目的及び具体的な内容	乳幼児期における疾病や発育発達上の問題の早期発見及び、乳幼児の健康の保持増進を目的とした情報提供や助言など、保護者に対する育児支援(虐待予防の観点も含む)を行う。(4か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査)集団健康診査を実施。4か月児健康診査は年36回(月3回)、1歳6か月児健康診査及び3歳児健康診査は年24回(月2回)実施。(10か月児健康診査)市内の委託医療機関において個別診査を実施。	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績						H29年度目標				
	期間	S40年度～	6.60人	1.25人	①84回										
			57,156千円	1.25人	②10,836人										

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費		成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響		
			会計	投入コスト(千円)	活動実績(H28)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	妊婦の疾病や異常の早期発見、健康管理の向上の観点から、今後も引き続き実施が必要な事業である。市ホームページや市広報紙を利用し、早期の妊娠届出、妊婦健康診査の積極的な受診について周知するとともに、子育て世代包括支援センターの専門職(助産師、保健師)によるマタニティーコールを通して、流産等妊娠継続とならなかった方を把握した際には、ていねいな対応に努める。流産に至る確率を考慮すると目標達成といえる。	H28年度に改善した点	無	無
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	252,816	238,197	①対象者数(妊娠届出数)	受診率 妊婦の健康管理の充実及び経費負担の軽減を図ることで、妊娠中の定期的な受診を促す。妊婦健康診査の受診率を指標とする。 受診者数÷対象者数×100	H27年度目標	H27実績					
	妊婦健康診査事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②母子健康手帳交付数(再交付・追加交付含む)		H28年度目標	H28実績					
		母子保健法、所沢市妊婦健康診査実施要綱、所沢市妊婦健康診査助成金交付要綱	254,283	234,805	③受診者数		H27年度目標	H27実績					
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績		H28年度目標	H28実績					
期間	H9年度～	妊婦の疾病や異常を早期発見し、健康の保持・増進を図り、健康管理の向上を図ることを目的とする。妊娠の届出をした者に対し、母子健康手帳とともに妊婦健康診査助成券(14枚)を交付し、委託医療機関において妊婦健康診査(合計14回)を実施する。また、里帰り出産等による委託医療機関以外での受診については、助成制度(償還払い)を実施する。	1.80人	15,588千円	①2,658人	100%	94%						
			H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	②2,731人	100%	94%						
			H27非常勤特別職	H27臨時職員	③2,496人	H29年度目標							
			4,116千円	3.25人		100%							
									健康づくり支援課長 野上 進				
保健医療課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	一般の歯科診療所での診療が困難な患者への歯科診療体制及び休日緊急歯科診療体制の確保のために、所沢市歯科診療所条例に基づき、歯科診療事業を継続していく必要がある。目標値を達成するため、引き続き利用者への周知に努めていきたい。	H28年度に改善した点	無	無
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	55,477	54,070	①在宅要介護高齢者歯科診療診療日数	歯科診療受診者数(各歯科診療の1日あたりの最大受診者数×診療日数)	H27年度目標	H27実績					
	歯科診療所事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②障害児者歯科診療歯科診療診療日数		H28年度目標	H28実績					
		医療法、所沢市歯科診療所条例	57,033	55,246	③休日緊急歯科診療歯科診療診療日数		H27年度目標	H27実績					
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績		H28年度目標	H28実績					
期間	H10年度～	一般の歯科診療所での診療が困難な患者への歯科診療体制及び休日緊急歯科診療体制の確保を目的として、保健センター内「歯科診療所あおぞら」において、在宅要介護高齢者及び障害児者の歯科診療、休日緊急歯科診療を実施するものである。	0.45人	3,897千円	①50日	1,609	1,373						
			H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	②101日	1,617	1,416						
			H27非常勤特別職	H27臨時職員	③70日	H29年度目標							
			0.43人	3,687千円		1,617							
								保健医療課長 前田 広子					
保健医療課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	小児科救急医療病院群輪番制事業は、夜間及び休日・祝日の小児の第2次救急患者の医療体制を確保することを目的としていることから診療実施率を指標とする。	H28年度に改善した点	無	無
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	3,575	3,545	①診療計画日数	診療実施率 診療実施日数 ÷ 診療計画日数	H27年度目標	H27実績					
	小児科救急医療病院群輪番制事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	夜間(365日+休日昼間(日曜・祝日・振替休日・年末年始)		H28年度目標	H28実績					
		埼玉県小児救急医療施設運営費補助金交付要綱	2,810	2,658	②診療実施日数		H27年度目標	H27実績					
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績		H28年度目標	H28実績					
期間	平成12年度～	夜間及び休日・祝日の小児の第2次救急医療を確保するため、所沢市、狭山市、入間市の市民の小児を対象として、3市及び協力医療機関(5病院)による協定書に基づき、輪番制により第2次救急医療体制の整備を図るものである。	0.25人	2,165千円	①437日	438	339						
			H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	②369日	437	369						
			H27非常勤特別職	H27臨時職員		H29年度目標							
			0.25人	2,144千円		437							
								保健医療課長 前田 広子					
保健医療課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	在宅当番医制事業は、日曜日、祝日及びび年末年始における初期救急患者の医療体制を確保するためには重要な事業であるため、今後も所沢市医師会と連携を図りながら実施していく必要がある。	H28年度に改善した点	無	無
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	15,326	15,326	①診療計画日数	診療実施率 診療実施日数 ÷ 診療計画日数	H27年度目標	H27実績					
	在宅当番医制実施事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②診療実施日数		H28年度目標	H28実績					
		事業の目的及び具体的な内容	15,326	15,326	実績		H27年度目標	H27実績					
		一般の医療機関が診療を行っていない日曜日・祝日及びび年末年始において、初期救急患者の医療体制を確保するため、所沢市医師会との委託契約により市内の医療機関が輪番制により診療を実施するものである。	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	①72日		72	72					
期間	昭和59年度～		H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	②72日	72	72						
			H27非常勤特別職	H27臨時職員		H29年度目標							
			0.20人	1,732千円		72							
								保健医療課長 前田 広子					

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど				環境影響	
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題		有益なもの	有害なもの	
市民医療センター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	市民医療センター常勤医師のほか、非常勤医師及び所沢市医師会からの派遣医師約50人の担当日の調整を図り、市民医療センターが中心的役割を果たしている。その結果、所沢市域全体で、365日、昼間、夜間、深夜のすべての時間帯での小児初期救急医療体制を安定的に維持している。	H28年度に改善した点		無	有		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	232,234	200,711	①小児夜間急患診療年間患者数	小児初期救急医療体制の維持	所沢市の小児初期救急医療の体制整備を示す指標。引き続き、所沢市域全体で365日昼間、夜間、深夜のすべての時間帯での小児初期救急医療を提供できるよう体制を維持するものである。				H28年度目標				H28実績	小児初期救急医療体制推進事業の周知を図るため、名刺サイズの案内カードの配布施設を前年度の109施設から142施設とした。
	根拠法令	所沢市病院事業の設置等に関する条例 所沢市市民医療センター管理規則	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②小児深夜帯急患診療年間患者数		H27年度目標	H27実績			H28目標値が未達成の理由・分析					
	事業の目的及び具体的な内容	医療機関の多くが診療を実施していない夜間、深夜、日曜日及び祝日において、小児の内科的急性疾患の初期診療を実施することで、安心して子育てができる医療環境の整備を図るものである。	249,306	216,595	③小児科日曜日・休日急患診療年間患者数	H28年度目標	H28実績	目標達成済								
	期間	H11~	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H29実績				目標達成済					
			3.50人	30.60人	①4,621人	維持	維持									
		30,310千円	臨時職員	5.60人	②1,854人	維持	維持									
		H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	③4,112人	維持	維持										
		3.60人	非常勤特別職	37.83人												
		30,870千円	臨時職員	5.50人												
		30,870千円	臨時職員	5.50人												
市民医療センター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	市民医療センターと近隣の医療機関等との連携体制を示す指標。地域連携室に看護師、医療ソーシャルワーカー、事務補助員を配置することにより、平日昼間は近隣の医療機関からの入院依頼に対して円滑な入院受け入れができる体制をとり、紹介入院患者数を増やすことを目標とした。	H28年度に改善した点		無	有		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	35,457	37,639	①紹介入院患者数	他の医療機関等からの紹介入院受け入れ体制の充実	市民医療センターと近隣の医療機関等との連携体制を示す指標。地域連携室に看護師、医療ソーシャルワーカー、事務補助員を配置することにより、平日昼間は近隣の医療機関からの入院依頼に対して円滑な入院受け入れができる体制をとり、紹介入院患者数を増やすことを目標とした。				H28年度目標				H28実績	患者の退院前後に家庭訪問、面談等を実施し、退院後の患者支援を行うことで、在宅での医療と介護の連携強化を図った。
	根拠法令	所沢市病院事業の設置等に関する条例 所沢市市民医療センター管理規則	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②相談、予約、調整業務		H27年度目標	H27実績			H28目標値が未達成の理由・分析					
	事業の目的及び具体的な内容	在宅療養患者が、かかりつけ医などからの依頼に基づき、円滑に入院できるよう受入体制や診療設備を整備するとともに、他の医療機関から在宅療養への移行に向けての橋渡しの入院を受け入れることで、地域医療体制の支援を行うものである。	29,579	25,368	①患者の受け入れ	H28年度目標	H28実績	市民医療センターの現在の入院機能では、病状が安定した患者の在宅復帰支援を行う設備、専門職が十分でないため、紹介入院患者数が伸び悩んでいる。								
	期間	H22~	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H29実績				目標達成済					
			2.80人	0.00人	①301人	充実	維持									
		24,248千円	臨時職員	1.00人	②9,663件	充実	維持									
		H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	③301人	充実	維持										
		2.60人	非常勤特別職	0.00人												
		22,295千円	臨時職員	1.00人												
		22,295千円	臨時職員	1.00人												
健康管理課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	精神障害及び精神障害者への理解を進めることが目的であるため、来場者数を指標とした。	H28年度に改善した点		無	無		
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	516	465	①こころの健康講座	こころの健康講座とこころの美術展への来場者数	精神障害及び精神障害者への理解を進めることが目的であるため、来場者数を指標とした。				H28年度目標				H28実績	市民にわかりやすく、精神障害者に対する理解の促進となるよう、精神疾患をテーマにした映画の上映やその映画監督の講演を実施した。
	根拠法令	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②こころの美術展		H27年度目標	H27実績			H28目標値が未達成の理由・分析					
	事業の目的及び具体的な内容	精神障害及び精神障害者に対する正しい知識の普及を図り、精神障害者及びその家族が健やかに暮らせる地域社会づくりを推進する。	1,107	952	③こころの健康ガイドブック作成	H28年度目標	H28実績	目標達成済								
	期間	H8年度~	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H29実績				目標達成済					
			1.25人	0.00人	①計5回開催 276人の参加	2,300人	2,722人									
		10,825千円	臨時職員	0.00人	②H28.10.3から10.7まで5日間実施	2,400人	3,845人									
		H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	③こころの健康ガイドブック「はあとこガイド」の作成配布	2,500人											
		1.15人	非常勤特別職	0.00人												
		9,861千円	臨時職員	0.00人												
		9,861千円	臨時職員	0.00人												
健康管理課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	精神障害の早期発見、治療、社会復帰及び社会経済活動への参加の促進を図ることが精神保健福祉業務の趣旨であるため、保健師や精神保健福祉士による精神保健相談の延べ件数を指標とした。	H28年度に改善した点		無	無		
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	5,988	4,917	①保健師及び精神保健福祉士による延べ相談件数	保健師、精神保健福祉士による延べ相談件数	精神障害の早期発見、治療、社会復帰及び社会経済活動への参加の促進を図ることが精神保健福祉業務の趣旨であるため、保健師や精神保健福祉士による精神保健相談の延べ件数を指標とした。				H28年度目標				H28実績	各種申請や相談等に関しては、対象者の生活状況などを踏まえ、夜間や休日にも相談業務を実施した。
	根拠法令	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②精神保健福祉手帳所持者数		H27年度目標	H27実績			H28目標値が未達成の理由・分析					
	事業の目的及び具体的な内容	精神保健相談については、来所、訪問、電話及びメール等により行い、必要に応じて専門医による相談を実施する。精神障害の早期発見、精神科医療への早期治療と継続、社会復帰に向けた総合的な支援を行う。	8,710	7,449	③自立支援医療(精神通院)の利用者数	H28年度目標	H28実績	H28年度は、新規の相談者より、普段から関わりのある方からの相談が多かった。既存の相談者については、症状も把握しており、少ない回数でも的確なアドバイスができたことから件数は目標より少なくなった。								
	期間	H14~	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H29実績				目標達成済					
			5.97人	2.00人	①7,103件	6,700件	9,056件									
		51,700千円	臨時職員	2.00人	②2,659人	9,000件	7,103件									
		H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	③4,967人	9,000件											
		5.88人	非常勤特別職	4.00人												
		50,421千円	臨時職員	4.00人												
		50,421千円	臨時職員	4.00人												

